

日本原電本社で「20年延長」に100人余が抗議!

20年延長反対の抗議文(53団体)受け取らず!



11月30日(水)午後、東海第二原発を所有する日本原電本社・千代田区神田前で「20年延長に対する抗議」を行いました。

日本原電は、11月24日(金)、老朽化した東海第二原発の20年稼働延長を、規制委員会に提出しました。5月以来、特別点検を進めていましたが、県民の抗議に対し「20年稼働延長申請は決めていない」としていました。ところが申請期限直前に「20年延長申請」を強行しました。申請当日の24日、急遽水戸市にある日本原電へ抗議行動を行いました。担当者は「再稼働は決めて

いない。安全審査を求めただけだ」と強弁するだけでした。

日本原電社は、抗議文を、「抗議行動に参加しよう!などのツイートが出ている。関係ない人が参加することも考えられる」などの理由で、「抗議文は受け取れない」としました。このため、急遽日本原電本社前の抗議行動を設定しました。(日本原電社は非常に大きなビルでした。しかしおかしいことには社名はどこにも表示されていませんでした。)

当日、茨城はもとより、東京、千葉、神奈川などから100人

余が集まりました。司会は社民党の玉造氏。合間のコールは日本共産党の土田さんが行いました。社民党福島議員の秘書、日本共産党の国会議員 塩川氏も参加して、一緒に抗議しました。

県平和委員会の事務局長は、「『東海第二原発の再稼働は決めていない』と言いながら、なし崩し的に稼働を強行するな。稼働するなら社長みずから出てきて説明してくれ」と松村社長を名指して呼びかけ、訴えましたが、返事はありませんでした。



守谷平和の会 2017年平和の旅で反戦・平和を誓う!

野口雨情・岡倉天心の叙情を訪ね、戦争の跡地を見学!



守谷平和の会の今年の行事の一つとして「平和の旅 県内の戦跡の旅」を11月26日(日)に、北茨城市と水戸市内原を見学しました。この平和の旅で、県内でも戦争に加担させられた実態の一端を知ることができました。参加者は11名。午前8時に自家用車3台で守谷を出発。入場料や昼食代を別にして、高速料金・ガソリン代は3000円余でした。

北茨城市の見学では、事前をお願いしていた北茨城9条の会・平和の会の藤田さん、穂積さん、鈴木さん、内原では県平和委員会代表理事の伊達さんにガイドとして大変お世話になりました。

■ 国民には秘密裏に製造された風船爆弾

藤田さんには風船爆弾が展示されている資料館での歯切れのよい説明に一同感服。具体的に深く知ることができました。風船爆弾は、正式には「ふ号作戦」と呼ばれ、国民には秘密裏に製造され、地元の人たちにも知らされなかったそうです。放球された風船爆弾は新幹線並みの速さ時速300km以上のジェット気流に乗って、北アメリカまで飛んでいきました。戦争末期で日本が負けることが分かっているながら、軍部が強行したのです。

風船爆弾の放球台は18あったと言われています。現在コンクリートの遺構を見ることができるのは大津地区の跡地だけ。地元の観光ホテルによって保全管理されています。

その後、県天心記念館五浦(いづら)美術館に移動。岡倉天心記念館で、天心のすべてを学び、「龍を描く」展も見学しま

した。昼食は穂積さん紹介してくれた割烹で戴きました。11年3月の震災では2mまで浸水したお店だそうです。

午後は水戸市内原まで直行し、県平和委員会代表理事の伊達さんから、満蒙開拓青少年義勇軍内原訓練所の説明を受けました。事前に伊達さんから送付されていた資料に基づいた親切で丁寧な説明に納得させられました。

【参加者の感想：守谷平和の会 西原さん】



今回が初めての参加でしたが、事前に配布された資料の内容と現地の平和委員会の方々の説明の素晴らしさに圧倒されました。

風船爆弾の模型と放球跡地の見学中に、私が小学生だった頃、叔父が「風船爆弾の作成に関係していたことがある」と、酒宴の席で話していた事を思いだし、叔父の生前に詳しい話を聞いておけばよかったとつくづく思いました。(・・中略・・)

戦前のように軍靴の足音が聞こえてくる雰囲気が濃厚になっているという事を、戦前に生まれた人から聞くことが多くなっています。私はいわゆる「戦争を知らない子供たち」世代ですが、戦争に突入していった歴史に中の一つ一つの事実を再度確認しながら、今の政治状況を直視し、平和な世界を築き上げる努力が必要だと感じました。

そして私よりもっと若い世代にも自ら得た成果を伝えていく努力をする必要があると思いました。今後、平和の会の行事に積極的に参加し、知見を増やしていきたいと思えます。

【原発事故から命を守るために】

★ 2018年1月20日(土)

茨城県生涯学習センター 多目的ホール

(土浦市大和町9-1ウララビル5F) 12:30開場

☆ 神田香織公演 13:00~

講談「ふくしまの祈り

—ある母子避難の声—

☆ 広瀬隆講演会 14:20~16:00

「日本列島の全原発が危ない!」

広瀬隆 「自然授業」(DAYS JAPAN刊)

出版記念講演

入場料：前売 一般1500円

当日 一般1800円

主催：福島応援プロジェクト (blog.goo.ne.jp/oueniba)

協賛：快医学ネットワーク

平和新聞

2017年12月15日(金)

2156号(毎月5,15,25日発行)

1950年12月16日第三種郵便物許可 発行 日本平和委員会
1部140円 月額400円 〒105-0014 東京都港区芝1-4-9 平和会館
(郵送料月額120円) 電話03(3451)6377 FAX03(3451)6277

平和かわら版

平和新聞茨城版 No. 795
2017.12/15
発行：茨城県平和委員会 〒310-0912 水戸市見川5-127-281
Tel/Fax 029-251-2806 E-mail ibahei@amber.plala.or.jp

各地の平和の会 定期総会開催の便り！



東海村平和委員会

「会長制」から「共同代表制」へ組織替え

東海村平和委員会は11月21日（火）、舟石川コミセンの会議室で定期総会を開催しました。総会の懸案は「会長制から共同代表制への役員組織の変更」でしたが、混乱もなく了承されました。

経過や方針の討議のあと、役員6人選任し、取り組みは役員会の協議で進めることとしました。また共同代表の選任は次回の役員会でやる事としました。県平和委員会から、堀江代表理事が参加しました。

守谷平和の会

辺野古基地建設反対ドキュメンタリー

「いのちの船」を鑑賞！



守谷平和の会の第12回総会は、11月8日（水）、守谷市中央公民館・2階集会室で開催されました。総会では、秋の宣伝行動などや平和の旅など、1年間の活動のまとめ、方針、会計報告がありました。

活動針では、毎年取り組んでいる朝日新聞掲載の「意見広告」の集約、12月議会へ提出する「核兵器禁止条約の批准を求める意見書」の提出など、会員の皆さんに協力をお願いしました。

その後、DVDを上映。内容は沖縄の新基地建設反対で辺野古・大浦湾でのたたかいを描いたドキュメンタリー映画「いのちの船」をみんなで鑑賞しました。

さよなら原発茨城ネットワーク 2017 定期総会開催！

老朽原発の再稼働を許さない

私たち県民の力で、原発を止めよう

さよなら原発茨城ネットワーク（略称：さよ原）総会が12月3日（日）水戸市生涯学習センターで開催されました。「さよ原」は、13年4月にひたちなか市・笠松運動公園で開催された、東海第二原発の廃炉を求める大集会の実行委員構成団体（県平和委員会、茨城民商、農民連、茨城労連、新婦人）を母体に結成され団体です。東海第二原発廃炉のとりくみでは、県平和委員会も「さよ原」の構成団体として運動に参加しています。

総会では最初に、東海第二原発訴訟団共同代表の大石光伸氏による「～裁判から考える～東海第二原発の危険性と再稼働を止める方法」の講演が行われました。話は分かり易く、そこで提出された「2017・12・3 さよなら原発いばらきネットワーク学習会メモ」は、裁判で明らかになったことなどを含め、東海第二原発の危険性が分かり易く丁寧にまとめられており、得難い資料でした。

総会は、16年度の取り組みを振り返り、「東海第二原発は絶対に再稼働させてはならない」決意のもと、「幅広い共同の成果に確信をもち」、「各自治体、原電、規制委員会への要請を強め」、「東海第二原発は絶対に再稼働させない」「運転期間延長をゆるさず」、「放射能からいのちとくらしを守る」ための運動をさらに強化することを確認しました。

役員は、代表に丸山弁護士（はばたき）、事務局長に村田氏（農民連）を選出しました。

★ 新聞意見広告賛同の取り組み

個人 1200口以上 団体 120口以上は確実に
(12月12日現在)

最後の取り組みを踏ん張って、今年の1割増しを実現しましょう！

○土浦、石岡、取手、ひたちなか等の地域では、
昨年1000口の大台近くを達成しました。

- ・古河・昨年330口 ⇒ 590口
- ・つくば・昨年300口 ⇒ 430口
- ・茎崎・昨年240口 ⇒ 300口
- ・龍ヶ崎・昨年240口 ⇒ 300口



☆「1割増し以上を達成するために奮闘中」の報告多し！
☆12月8日（金）朝日新聞(18)面の全面に、掲載されました！

★ ワインの取り組み

白=455本 赤=76本 合計531本
(事務局に届いた分 12月4日現在)

☆白（ヌーボー）：1500円 赤：1800円

県平和委員会：お知らせ

年明けの1月中旬に常任理事会予定

- 「安倍9条改憲NO！3000万署名」の取り組みを進めるため、1月に常任理事会を開催します。
- 日程については、決定次第連絡します。
- 年末の取り組みや地域での取り組みの交流も行います。

9条「改正」反対 平和宣伝チラシ6万枚を配布！

「憲法変えるな 政治を変えよう」-憲法9条“壊”憲は戦争への道！

「東海第二原発は20年延長をやめ廃炉に」-複合災害が！



10月の総選挙中に取り組みされた県平和委員会による「県内平和宣伝行動」。この取り組みに県平和委員会が作成したB4版チラシ（「憲法変えるな 政治を変えよう」「東海第二原発は20年延長をやめ廃炉に」）6万枚の配布が、以下のように取り組みられました。

各地域の平和の会・平和委員会は、実情に応じてポスティングや新聞折り込み等で多くの県民に届けました。残部が少量ありますが、19日行動などに使う予定です。

なお、チラシは有料となっており、1枚1円を県事務局に納入することが必要です。

《取り組み状況》

北茨城3,000 東海4,000 ひたちなか3,000
美和・緒川2,500 日立1,000 大宮500
那珂町500 太田1,000 結城1,000
下館1,000 友部3,000 笠間500 石岡4,500
水戸1,000 茎崎600 鹿行2,000 鹿嶋1,000
阿見1,000 土浦1,500 つくば1,000
大子1,000 牛久2,000 守谷2,000
つくばみらい2,000 取手 500 藤代1,000
はばたき200 茨厚労200 新聞折り込み 15,000